

公立高校入試情報 大阪府

【数学】

令和7年度大阪府入試の全体傾向

- 大問数はA(基礎的問題)が4問、B(標準的問題)が4問、C(発展的問題)が3問で、昨年と同じ。小問数はAが24問、Bが23問、Cが18問で、ほぼ例年どおり。Cは小問数が少ないが、思考力を問う問題が多く出題される。
- A、Bは、大問1が計算、大問2が各領域の小問集合、大問3は1次関数の利用、大問4は三平方の定理を含む図形の総合問題。Cは、大問1が小問集合、大問2が平面図形の総合問題、大問3が三平方の定理と空間図形。
- A、B、Cとも過程を書く問題、証明問題(Aは穴うめ)が出題されているので、記述力も必要である。

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

- ・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

■ 証明問題の出題

- ・例年どおり、図形の証明問題が出題された。B、C問題は全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

★大阪府入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●	●	●
		方程式	●			●
		比例と反比例		●	●	●
		平面図形			●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●			●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●	●	●
		三角形		●	●	●
		平行四辺形	●	●		●
		確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図		●		●	
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●		●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査			●	
出題形式別の傾向	大問数		4/4/3	4/4/3	4/4/3	4/4/3
	小問数		24/23/17	27/24/17	25/24/17	25/24/17
	記述問題	図形の証明(説明)	0/1/1	0/1/1	0/1/1	0/1/1
		その他の説明・証明など				
		立式・解法の過程の記述	1/1/1	1/1/1	1/1/1	1/1/1
		作図(図形)				
作図(グラフ)						